

林野庁 プレスリリース

7月1日	<2011 国際森林年関連事業>「森と湖に親しむ旬間」の実施について
7月1日	<2011 国際森林年関連事業>「親子森林教室」への参加募集について
7月7日	「林政審議会(本審議会)」、「第1回 林政審議会 施策部会」及び「第7回 林政審議会 国有林部会」の開催及び一般傍聴について
7月8日	東日本大震災について～「東北地方太平洋沖地震復旧復興に向けた合板需給情報交換会(第4回)」の開催について～
7月19日	東日本大震災について～「よくあるご質問と回答」(原木しいたけ)の更新について～
7月20日	<2011 国際森林年関連事業>「市民と森林をつなぐ 国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域 第2弾『森を学ぶ』」の開催について
7月20日	<2011 国際森林年関連事業>「第3回 国際森林年国内委員会」の開催及び一般傍聴について
7月22日	東日本大震災について～「よくあるご質問と回答」(原木しいたけ)の更新について～
7月26日	「全国森林計画」の変更について
7月26日	「森林・林業基本計画」の変更について
7月27日	<2011 国際森林年関連事業>「市民と森林をつなぐ 国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域 第3弾『森を語る』」の開催について
7月29日	合板に係る証明書等に関する注意喚起について

林野庁 一口メモ

国際森林年子ども大使 「葉っぱのフレディ」 東京公演開幕!

7月29日、国際森林年子ども大使を務めるミュージカル「葉っぱのフレディ」東京公演が始まりました。この日、公演に先立ち、田名部農林水産大臣政務官、皆川林野庁長官、溝畑観光庁長官が応援に駆けつけ、政務官から激励のこたばを贈りました。



公演で挨拶する田名部農林水産大臣政務官

国際森林年記念シリーズ⑧ 「森の水」

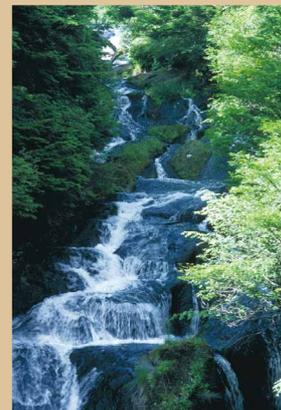
「おいしい」と感じるのはどんな水か? 厚生省の「おいしい水研究会」(昭和60年4月24日)によると、カルシウムやマグネシウム等のミネラル分が適度に含まれ、塩素分の少ないといった要件が示されています。水温も20℃以下がおいしく感じるようです。

我が国は急峻で平野部が狭く、地下水は短期間で海まで達するので、地下水に溶け込むミネラル分が大陸に比べて少なく、日本人の好むいわゆる「おいしい水」になるわけです。この「おいしい」には森の存在が重要な役割を果たしているのです。山に木がなければ、「おいしい」メ

カニズムが崩れてしまいます。雨が葉や幹、下草をつたい、土壤に浸透し、一定の時間をかけて地下水になることが、そのメカニズムを支えています。

そのおかげで、山に入って口にする澄んだ谷水は感動ものです。我が国のミネラルウォーターの1人あたり消費量は、20年前に比べて10倍強となっていますが、主要国に比べると大きく下回ります。例えば、米国は日本の5倍、イギリスは2倍といった状況です。また、加熱殺菌以外の殺菌処理やミネラル分調整等をしないナチュラルミネラルウォーターやナチュラルウォーターが大部分を占めています。

それだけ、日本の水はそのまま飲めるといふ表れではないでしょうか。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。